

この参考資料は、MSD Reports Strong Progress on its Commitments to Advancing Access to Health and Operating Responsibly (<https://www.msd.com/news/msd-reports-strong-progress-on-its-commitments-to-advancing-access-to-health-and-operating-responsibly/>) を日本語に翻訳したもので、内容および解釈については英語が優先されます。

MSD、「インパクトレポート2022/2023」を発行

～医療へのアクセス向上と責任ある事業運営の取り組みについて、力強い進展を報告～

- 2022年に、流通チャネル、臨床試験、アクセス戦略、無償ライセンス、寄付活動などを通してMSDのイノベーションを5億人以上に提供
- 「医療アクセス」における目標のうち2つを引き上げ
- 2023年の企業スコアカードに、「医療アクセス」および「従業員」に紐付けたサステナビリティ指標を追加。スコアカードは役員をはじめ世界中の社員の大半の年間賞与に影響
- SBTi (Science Based Target initiatives) に取り組み、全世界での事業活動(スコープ1、2、3)による温室効果ガス排出量の目標をネットゼロに設定
- サステナビリティ・ファイナンス・フレームワークに沿って、2022年6月までに、10億ドルのサステナビリティ・ボンドからの純収入のうち7億6000万ドルをソーシャル・プロジェクトおよびグリーン・プロジェクトに充当

2023年8月10日 米国ニュージャージー州ローウェイ: MSD (Merck & Co., Inc., Rahway, N.J., USAの商号)は、「インパクトレポート2022/2023 (Impact Report 2022/2023)」を発行し、サステナビリティに関する4分野の取り組み「医療アクセス」「従業員」「環境の持続可能性」「倫理と価値」において勢いを保ち、優れた成果を達成したことを報告しました。

MSDの会長兼最高経営責任者(CEO)のロバート・M・デイビスは、「当社のイノベーションの取り組み、そして当社の原則と価値観が、患者さん、地域コミュニティ、社会に対するポジティブな影響を引き続き創出することに直接的につながっています。当社は責任ある事業運営を行い、患者さんを第一に考え、サイエンスの水準を引き上げることを中心に据えています。この揺るぎない取り組みにより、あらゆるステークホルダーの方々に価値を提供し、迅速かつ緊迫感をもって世界中の人々の生命を救い、生活を改善させてゆくことができます」と述べています。

特に「医療アクセス」に関する目標のうち、以下の2つを達成し目標をさらに引き上げました。

- 2年前、MSDは2025年までに、アクセス戦略、ソリューション、パートナーシップを通して世界中でさらに1億人の人々にMSDの革新的なポートフォリオ¹へのアクセスを提供するという目標を掲げました。この目標を2022年に前倒しで達成したことに伴い、目標を当初の3倍以上に引き上げました。新たな目標として2025年までにさらに3億5000万人以上の人々に当社の革新的なポートフォリオへのアクセスを提供することを目指します
- MSDは、社会的投資により2022年までに低中所得国の人々や米国で医療サービスに恵まれない人々など3300万人以上の人々に貢献しました。これは2025年までに3000万人以上の人々に貢献するという目標を

上回るものです。MSDはこの目標を引き上げ、2025年までに低中所得国の人々や米国で医療サービスに恵まれない人々、そして今後は高所得国で十分な医療サービスを受けることができない人々も含め、5000万人以上の人々に貢献することを目指します

本レポートのその他の主な内容は以下のとおりです。

医療アクセス

- 2022年に、流通チャネル、臨床試験、アクセス戦略、無償ライセンス、寄付活動などを通してMSDのイノベーションを5億人以上に提供しました
 - 例えば、河川盲目症(オンコセルカ症)やリンパ系フィラリア症²の治療薬の寄付プログラムを通して約3億6000万人の人々に貢献しました
- 2022年は社会的投資により3800万ドルを投資し、医療の公平性や妊産婦の生命を救うための「MSD for Mothers」といった取り組みを推進し、3000万人以上の人々を支援しました
- 2022年まで、MSDの多角的な戦略により、新型コロナウイルス感染症に対する抗ウイルス薬への迅速かつ公平なアクセスが推進され、500万回分以上のジェネリック医薬品が20カ国以上の低中所得国に供給されました
 - さらに、MSDの直接供給分についても2022年末までに世界で400万人以上の患者さんの治療に使用されました
- 2021~2025年のUNICEFとの長期契約を通して、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン1億回分以上をGaviワクチンアライアンスの支援国向けに提供しています

従業員

- 米国でのペイエクイティ(同一労働同一賃金)は、男女間、白人と白人以外(黒人、ヒスパニック、アジア系など)の社員間において99パーセント以上を達成しました
- 2022年に採用された米国の新入社員の47パーセントが過少代表民族に属しています

環境の持続可能性

- SBTi(Science Based Target initiatives)に取り組み、全世界での事業活動(スコープ1、2、3)による温室効果ガス排出量の目標をネットゼロに設定しました
- 2022年に購入した電力の45パーセントは再生可能エネルギーによるものでした

倫理・価値

- 多様性のあるサプライヤーの第1階層(Tier 1)および第2階層(Tier 2)への全世界での支払額は29億ドル(2021年)から32億ドル(2022年)に拡大しました

サステナビリティ・ボンドによる純収入は、MSDのサステナビリティ重点領域におけるプロジェクトやパートナーシップの推進、そして、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の促進のために使用されています。2022年6月(ボンドの直近の報告期間)までに、サステナビリティ・ファイナンス・フレームワークに沿って、純収入のうち7億6000万ドルをソーシャル・プロジェクトおよびグリーン・プロジェクトに充当しました。

また、2023年の企業スコアカードに、重点分野の「医療アクセス」および「従業員」に紐付けたサステナビリティ指標を追加しました。この企業スコアカードは、役員をはじめ世界中の社員の大半年間賞与に影響を与えるものです。

MSDのサステナビリティに対する考え方、社会やすべてのステークホルダーの方々に対して価値を創出することへのコミットメント、主な目標の達成状況の詳細は「[Impact Report 2022/2023](#)」(英語)をご覧ください。

¹ 製品の「革新的なポートフォリオ」とは、当社の特許製品を指します

² 河川盲目症(オンコセルカ症)やリンパ系フィラリア症の治療薬の寄付対象国はアフリカ、アジア、中東、南米、西太平洋諸国です

MSDについて

MSD(Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA)が米国とカナダ以外の国と地域で事業を行う際に使用している名称は、最先端のサイエンスを駆使して、世界中の人々の生命を救い、生活を改善するというパーパスのもとに結実しています。130年以上にわたり、重要な医薬品やワクチンの発見を通して人類に希望をもたらしてきました。私たちは、世界トップクラスの研究開発型バイオ医薬品企業を目指し、人類や動物の疾患予防や治療に寄与する革新的なヘルスケア・ソリューションを提供するために、研究開発の最前線で活動しています。私たちは、多様かつ包括的な職場環境を醸成し、世界中の人々と地域社会に、安全で持続可能かつ健康な未来をもたらすため、責任ある経営を日々続けています。詳細については、弊社ウェブサイト(www.msd.co.jp)や [Facebook](#)、[YouTube](#) をご参照ください。

Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの将来に関する記述

このニュースリリースには、米国の1995年私的証券訴訟改革法(the Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の免責条項で定義された「将来に関する記述」が含まれています。これらの記述は、Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの経営陣の現時点での信条と期待に基づくもので、相当のリスクと不確実性が含まれています。新薬パイプラインに対する承認取得またはその製品化による収益を保証するものではありません。予測が正確性に欠けていた場合またはリスクもしくは不確実性が現実化した場合、実際の成果が、将来に関する記述で述べたものと異なる場合も生じます。

リスクと不確実性には、業界の一般的な状況および競争環境、金利および為替レートの変動などの一般的な経済要因、昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な大流行の影響、医薬品業界の規制やヘルスケア関連の米国法および国際法が及ぼす影響、ヘルスケア費用抑制の世界的な傾向、競合他社による技術的進歩や新製品開発および特許取得、承認申請などの新薬開発特有の問題、Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAによる将来の市況予測の正確性、製造上の問題または遅延、国際経済および政府の信用リスクなどの金融不安、画期的製品に対するMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの特許権やその他の保護の有効性への依存、特許訴訟や規制措置の対象となる可能性等がありますが、これらに限定されるものではありません。

Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAは、新たな情報、新たな出来事、その他いかなる状況が加わった場合でも、将来に関する記述の更新を行う義務は負いません。将来に関する記述の記載と大きく異なる成果を招くおそれがあるこの他の要因については、Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAに関するForm 10-Kの2022年度年次報告書および米国証券取引委員会(SEC)のインターネットサイト(www.sec.gov)で入手できるSECに対するその他の書類で確認できます。

以上